年間授業計画 様式例

高等学校 令和８年度（３学年用） 教科 国語 科目 古典探求

教 科： 国語　　科 目： 古典探究　　単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組

教科担当者：（A組：川口）（B組：川口）（C組：石黒）（D組：石黒）（E組：石黒）

使用教科書：（ 第一学習社「古典探究」 ）

教科 国語 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	言葉がもつ価値への認識を深めようとするとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	「物語　竹取物語」	平安初期に書かれた作り物語の場面設定や心理描写を読み味わい、その伝奇性を生んだ古代人の想像力に触れる。 ・伝奇的作り物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。			○	【知識及び技能】 現代の実社会に必要な母国語としての日本語に必要な知識や技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	16
	「史伝　史記」	追い詰められていく項王の心境を読み取り、人間の生き方についての考えを深める。 ・史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。			○		○	○	○	11
	定期考査			○			○	○		1
	「日記　蜻蛉日記」 「日記　紫式部日記」 「日記　更級日記」	女性による日記文学作品を読んで、自己の内面を赤裸々に書き綴った心情描写に触れる。 作品の成立背景や他作品との関係をふまえて、内容の解釈を深める。			○		○	○	○	16
	「諸家の思想　老子」 「諸家の思想　荘子」 「諸家の思想　韓非子」	思想という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉えるとともに、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。			○		○	○	○	11
	定期考査			○			○	○		1
し	「物語　源氏物語」	歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れるとともに、文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。			○	【知識及び技能】 現代の実社会に必要な母国語としての日本語に必要な知識や技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	16
	「中国の詩（漢詩）」	漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを通して考えを広げるとともに、漢詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。			○		○	○	○	11
	定期考査			○			○	○		1
	「歴史物語　大鏡」	歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿の一端に触れるとともに、歴史物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。			○		○	○	○	16
	「諸家の文章」	逸話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉えるとともに、逸話を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。			○		○	○	○	11
	定期考査			○			○	○		1
3学期	共通テスト対策演習	共通テストの問題演習を通じて、大学がどのような力を持った学生を入学させたいのかを理解する。			○	【知識及び技能】 現代の実社会に必要な母国語としての日本語に必要な知識や技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	14
	入試問題演習				○		○	○	○	14
										合計 140